

令和8年度鴨川市学校給食センター運営委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和8年7月29日(水) 午後3時から午後4時15分まで
- 2 場 所 鴨川市学校給食センター2階会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 5人
高梨洋一委員、大久保裕子委員、斎藤昌代委員、田中大輔委員、小橋孝介委員
 - (2) 協力委員(代理) 1人
三浦徹校長
 - (3) 蒔苗茂教育長
 - (4) 事務局 4人
渡邊毅之課長、山口隆司主幹、原田淳二係長、山口裕子栄養教諭
- 4 欠席者 2人
山口健一協力委員、高梨美佐子協力委員
- 5 傍聴者 なし

会議の概要

- 1 開会 司会：山口主幹

司会：

皆さんこんにちは。ただいまから、令和8年度鴨川市学校給食センター運営委員会会議を開催いたします。

お手元に、鴨川市附属機関設置条例及び鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領をご用意させていただきました。

鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定により、この会議の成立につきましては、委員の過半数の出席が必要とありますが、5人の委員の方のご出席をいただいておりますので、本会議は成立しますことをご報告させていただきます。

本日のこの会議ですが、附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条及び第8条の規定により、会議録を作成するとともに、会議録及び会議資料は、市政情報コーナーへの備付けや市ホームページへの掲載を行うこととなっております。正確な議事録を作成するため、本会議を録音させていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(了承)

ありがとうございます。

これからご審議いただく前に、附属機関の説明をさせていただきます。

(附属機関の説明)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第3条にありますように、附属機関の会議は、公開することが原則となっております。本日、傍聴を希望する方はいませんでした。

2 委嘱状交付

(教育長から、4人の委員に委嘱状を交付)

3 教育長挨拶

教育長：

皆さんこんにちは。教育長の蒔苗でございます。

本日は、令和8年度鴨川市学校給食センター 運営委員会を開催しましたところ、委員皆様方におかれましては、ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から、本市の教育行政、とりわけ、学校給食センター業務に関し格別のご理解とご協力いただいておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

ただいま、学校給食センター 運営委員会 委員として新たに4名の方に、委嘱状を交付させていただきました。皆様方には、ご快諾いただきましたこと、感謝申し上げます。

さて、学校給食を取り巻く環境は、近年大きな変化を迎えております。保護者の皆様の負担軽減と子育て支援の観点から、本年4月から小学校給食費を無償化させていただきました。これにより、これまで以上に多くの子どもたちへ安定した栄養と食育の機会を届けることが可能となり、大変喜ばしく思っております。

しかしながら、学校給食センターの運営は、昨今の人件費の上昇、深刻な人手不足、更には食材やエネルギーコストの高騰など、非常に厳しい局面に直面しております。

毎日、安全・安心な美味しい給食を学校へ届けるために、センターの職員たちも創意工夫を凝らし、懸命に努力を続けておりますが、この難局を乗り越えるのは容易なことではございません。

このような中、昨年度には、新たな教育振興計画を策定いたしました。この計画では「学校給食の充実」を重要な施策として掲げております。衛生・安全管理の徹底を図りながら、鴨川の宝である子どもたちに、栄養バランスの取れた給食を提供することは、私たちの最も大切な使命です。

さらに、近年特に重要性が増しているアレルギー対策にも、万全の体制で取り組んで参ります。

この計画を具現化するためには、小中学校、そして何より家庭との緊密な連携が不可欠となります。現場の厳しい実情や物価高騰への対応など、課題は山積しておりますが、本日お集まりの皆様による緊密な連携こそが、子どもたちの生涯にわたる健康増進を支える何よりの原動力となります。

本日の会議内容でございますが、報告４件と、その後に、残食を減らすための献立等について意見交換を予定しておりますので、委員皆様方におかれましては、それぞれのお立場から忌憚の無いご意見をいただきますようお願い申し上げ、挨拶いたします。

本日は、よろしくお願いいたします。

4 自己紹介

(事務局、委員、協力委員の順で自己紹介)

5 役員選出

司会：

会長、副会長の選出です。会長、副会長をどのように選出いたしますか。

(意見なし)

ご意見が無いようであれば、事務局案を提示させていただければと思います。

会長には、鴨川市公立学校PTA連絡協議会会計の高梨洋一委員、副会長には、鴨川市公立学校PTA連絡協議会母親代表の大久保裕子委員を推薦させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(意見なし)

異議が無いようですので、会長には高梨洋一委員、副会長には大久保裕子委員を選出しますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議では、委員の皆様には議事としてお諮りする事項は無いため、次第６の事務局からの報告事項と、次第７では意見交換として、残食を減らすための献立等について、事務局からの説明に対して皆様からのご意見を伺う形で進めさせていただきたいと思っております。

なお、会議の進行については、鴨川市附属機関設置条例第５条第１項に基づき、会長が議長となります。高梨会長、議長席にお願いいたします。

会長：

ただいま会長に選任されました、今年度市Ｐ連の会計を務めております、高梨と申します。不慣れではありますが、滞りなく会議を進めて参りたいと思っておりますので、皆さんよろしくお願い致します。

会議次第６の報告に入る前に、議事録署名人を選出したいと思っておりますが、私からの指名でよろしいでしょうか。

(了承)

それでは、鴨川市公立学校PTA連絡協議会母親代表の斎藤昌代委員にお願いしたいと思います。斎藤委員、よろしくお願い致します。

(了承)

6 報告

議長：高梨会長

(1) 令和8年度学校給食センターの概要及び業務計画について

事務局：

(資料「報告1」に即して説明)

議長：

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見、ございますか。

(意見なし)

無いようですので、報告(1)についてはよろしいでしょうか。

(了承)

(2) 学校給食センター設備改修等事業について

事務局：

(資料「報告2」に即して説明)

議長：

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見、ございますか。

(意見なし)

田中委員：

厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルでは、調理場内の温度は25度以下に保つことが望ましいとされている。厨房用業務エアコンが設置されたことにより調理場内が快適である。本年5月の千葉県による給食施設巡回指導の際には、室温が25度に保たれていることが確認された。

議長：

ほかにご質問やご意見、ございますか。

(意見なし)

無いようですので、報告(2)についてはよろしいでしょうか。

(了承)

(3) 令和7年度決算及び令和8年度予算について

事務局：

(資料「報告3」に即して説明)

議長：

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見、ございますか。

(意見なし)

無いようですので、報告（３）についてはよろしいでしょうか。

(了承)

(４) 令和７年度教育委員会の点検と評価について

事務局：

(資料「報告４」に即して説明)

議長：

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見、ございますか。

(意見なし)

無いようですので、報告（４）についてはよろしいでしょうか。

(了承)

７ 意見交換

議長：高梨会長

(１) 残食を減らすための献立等について

事務局：

(資料に即して説明)

議長：

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問やご意見、ございますか。

急なお話でご意見といってもなかなかまとまらないと思いますので、少し考えていただくお時間をいただきたいと思います存じますが、事務局よろしいですか。

(はい)

では、２～３分ということで１５時４９分に再開しますので、その間に考えをまとめてください。

(暫時休憩)

議長：

それでは、再開します。ご意見等いかがですか。

小橋委員：

残食を減らすための過去3年間ほどの取組を教えてください。

事務局：

魚は骨があるので苦手とする子どもが多い。焼き魚よりはフライにするなど、子どもたちが食べやすい味付けや調理方法を工夫している。

小橋委員：

魚と海藻は生臭さがあるので、病院の食事でも苦手とする方が多い。

田中委員：

給食についてのアンケートの9番に、「給食を食べる時間は足りていますか？」との問いに対して、約4割が「もう少し長くしてほしい」と回答している。給食の時間を長くすることは可能か。

三浦校長：

考えられる理由として、中学校の始業時間が8時で、50分授業を行うと12時20分から給食時間となる。給食回収の時間を考慮すると現状の時間割となる。

自校調理だと、回収の時間を気にしないが、回収の順番が早い学校だと更に給食時間が短縮される可能性がある。

仮に、始業時間を早くすると保護者の負担が増加する懸念がある。

田中委員：

事前に保健所の栄養士に意見を聞いたところ、「給食時間が短いのではないか」とのことであった。今の話で、給食時間を長くするのは難しいことが分かった。

災害対策という観点からも、地産地消として地元のものを使う。地元にも骨の無い魚を取り扱う業者があるが、日頃から地元業者と取引があれば、災害時の対策にもなる。館山市の給食センターが、令和元年の房総半島台風で被災した際に、地元業者の製品を使っていたので、地元業者との取引も大切にしたい。

事務局：

市内業者でアジフライやブリの切り身を取り扱う業者などを使っているが、値段が割高である。

田中委員：

多少割高であるが、災害時のことも考えると、年間数回でも取引があった方が良い。

小橋委員：

骨のある魚は食育のために提供しているのか。

事務局：

魚の食べ方や箸の使い方など、食育のためである。

小橋委員：

国保病院では高齢者が多いため、骨なしの魚を使っている。

大久保委員：

小学校の喫食時間は概ね何分か。

三浦校長：

小学校ごとに多少の違いはあるが、概ね 12 時か 12 時 5 分開始が多い。

配膳と後片付けの時間を短縮し、喫食時間を増やす方法と、集中して食べる時間を設ける方法が考えられる。

喫食時間としては、20 分から 25 分だと思う。

教育長：

今も 30 年前も学校の時間割は、ほとんど同じだと思う。

中学校は 50 分、小学校は 45 分授業は同じなので、午前中に 4 時間の時間割である。

登校時間は早めると違う問題があると思う。現状では難しいので、昼休みを短縮するなどが考えられる。

三浦校長：

中学生は昼休みに委員会活動があるけれども可能だと思う。しかし、小学生は昼休みが短縮されると遊ぶ時間がなくなり午後の授業がもたなくなる。

事務局：

4 割の子どもが食べる時間が短いと感じているとは思わなかった。

教育長：

栄養士がカロリー等を考えて提供している給食が、喫食時間が短いことによって残ってしまうことは良くない。

食材やメニューの好き嫌いもあるが、喫食時間が短いことによって残食が増えてしまうことは大事な視点なので検討した方が良い。

田中委員：

リクエストメニュー等は実施しているか。

事務局：

市内の小学校の給食委員会から「夢の給食企画」として、フライドポテトが提案された。また、給食参観などで希望するメニューを聞いている。

三浦校長：

長狭学園では、卒業前のお祝い給食として揚げパンが提供された。

また、調理が業者委託された頃から、塩分濃度が下がったため、味付けが薄くなり食べなくなったとの意見を聞いた。

田中委員：

喫食時間が短いと、食事に対するプレッシャーになってしまう。そのため、食に対する楽しみという観点からもリクエストメニューは良いと思う。

教育長：

市議会議員からも残食に対する取組について聞かれる。

事務局：

これまで、食缶の中に残食をすべて入れていたが、汁物と固形物を分けて片付けることにした。このことによって残食の全体的な量を減らすことができた。

三浦校長：

鴨川の子どもは、チリコンカンが好きだが、館山市の子どもはあまり好きではない。

事前に、学校の健康委員会に残食を減らすための献立等について意見を聞いたところ、例えば、フライは苦手だが、ハンバーガーなどのようにパンに挟むようにすると良い。米飯であれば、タコライスのような混ぜて食べるようにすると残食は少ないとのことであった。

小橋委員：

東京都公立中学校 33 学校 134 クラスの給食時間の状況に関する調査では、喫食時間の中央値は 15 分であり、20 分以上のクラスは 16%であった。喫食時間が長いクラスの方が残食率が低いとの調査結果であった。

三浦校長：

子どもによっては、好きではないメニューは絶対に喫食しない。隣市の学校では、給食が足りなくて増やしてほしいと要望があるところもある。

教育長：

様々なご意見ありがとうございました。取り組めるところから取り組んでいきたい。

議長：

はい。ありがとうございました。斎藤委員はいかかですか。

斎藤委員：

事前に、子どもに好きな給食メニューを聞いたところ、スパゲッティなどの麺類が食べたいとのことであった。

事務局：

過去には製麺所があったので、1食分の小袋が用意できたが、製麺所がなくなってしまった。現在は、パンと併用しながらナポリタンを提供するようにしている。

議長：

自分の子どもは、サケの切り身を食べるときに、長男は皮まで食べるが、長女は皮は食べないので口論となることがある。この皮は、人によっては残食になることもあるので、人によって食に対する目標を設定してみても良いのではないかと思う。

議長：

ありがとうございました。ほかに、ご意見等いかがですか。無ければ、事務局お願いします。

事務局：

いろいろとご意見をいただきありがとうございました。本日のご意見を参考に、今後とも安全で安心な給食を提供してまいりたいと思います。

議長：

ありがとうございます。

これをもちまして、本日予定しておりました会議の内容は終了いたしました。以上をもちまして、議長の職を解かせていただきます。

みなさん、ご協力ありがとうございました。

司会：

高梨会長、会議の円滑な進行、誠にありがとうございました。元の席にお戻りいただければと思います。

8 その他

司会：

それでは、会議次第8のその他に移りたいと思います。

せっかくの機会ですので、皆様から何かご意見などございましたらお願いします。

(意見無し)

無いようですので、以上をもちまして、令和8年度鴨川市学校給食センター運営委員会会議を終了させていただきます。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をしたので署名をします。

令和 8 年 8 月 20 日

(会議録署名人)

鴨川市学校給食センター運営委員会委員

氏 名 齋 藤 昌 代